

2022年12月1日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
相模原南児童ホーム
所長 曾我 幸央

相模原南児童ホームの児童・職員の
新型コロナウイルス感染について
(25の③)

昨30日(火)付の既報(25の②)の続報をお知らせします。これまでの経緯は既報(25、25の②)をご参照ください。

既報(25の②)でお知らせした児童12名、職員5名、合わせて17名のPCR検査(2回目の検査)については、職員1名(以下、「職員A」といいます。)を除いて、16名の検体(唾液)を採取して検査機関へ送付、本12月1日(木)夕、16名全員の陰性が確認されました。

他方、職員Aは、検体を採取する前の昨11月30日(火)夜、発熱等の感染症状が発現し、本1日(木)午前、医師の診察及び抗原定性検査を受け、陽性が確認されました。

16名の児童、職員は、PCR検査の検体採取の後に職員Aとの接触はありませんので、職員Aの感染がこの16名の2回目のPCR検査の信頼性に影響することはありません。

2回目のPCR検査では、職員Aを除いて検査を受けた16名全員の陰性が確認されたことから、感染者は、起点となった職員1名、1回目の検査で確認された児童1名、職員1名、2回目の検査の前に確認された職員Aの、合わせて4名にとどまり、それ以上の感染の伝播はないものと推定されます。

今後、この感染事例(25、25の②、25の③)に関連して懸念すべき事象が出来ればあらためてご報告しますが、それがなければこの事例に関するご報告はこれで終了します。

皆様には度々のご心配をおかけして、誠に申し訳なく存じますが、感染防止には今後も尽力しますので、ご理解、ご協力をお願いします。